

## 大峰最後の課題・地獄谷右俣の大氷柱瀑登攀（初登）

メンバー：L M本（T会・大阪）  
M上（T山岳会・兵庫）

2008年2月9日（土）曇りのち雪（南岸性低気圧）

7：30 山葵谷入り口

9：30 シェークスピア氷瀑群

11：00 未登の大氷柱瀑取り付け

1ピッチ 35m L：M上 スクリュー5本

2ピッチ 20m ++~ -? L：M本 スクリュー6本

3ピッチ 30m + L：M本 スクリュー9本（ハギング・ビレー）  
（「閻魔大王」 -? 5級上? と命名）

14：30 トラバース・ルート下見

15：30 「閻魔大王」取り付け帰着

16：00 シェークスピア氷瀑群帰着

17：30 山葵谷帰着

2008年2月10日（日）曇りのち時々晴れ

5：00 山葵谷

7：30 シェークスピア氷瀑群

9：00 「閻魔大王」取り付け付近到着

10：00 トラバース・ルート（「イバラの道」と命名）より、  
昨日の3ピッチ終了点へ

11：00 （ピッチ数は昨日の続きよりカウント）

4ピッチ 40m +~雪田 L：M本 スクリュー1本

5ピッチ 40m ~雪田 L：M上 スクリュー5本

6ピッチ 30m ナメ~ L：M本 スクリュー4本（ハギング・ビレー）

7ピッチ 40m +~雪田 L：M上 スクリュー3本

8ピッチ 45m L：M本 スクリュー6本

氷柱瀑群は終わり、ここで終了とする（合計約280m）

（4~8ピッチ「天の道」 4級上 と命名）

15：00 懸垂下降開始

（合計6ピッチの懸垂で「閻魔大王」の取り付けへ）

16：30 閻魔大王取り付け帰着

17：00 シェークスピア氷瀑群帰着

18：30 山葵谷入り口帰着

〔装備〕

アイス・スクリュウ11本、9 × 50mを2本、固定ロープ  
イボ・イノシシ、スペクター、エイリアン（緑・赤・黄）、ナッツ、ハーケン、  
その他一般登攀具

アックス：シモン・ピラニア+シャルレ・クオーク（リーシュ付） アイゼン：カンブ・フ  
ットファンク（M本）

アックス：シャルレ・クオーク×2（リーシュ付） アイゼン：シャルレ・ダートウィン（M  
上）

2月8日（土）曇りのち雪

山葵谷の林道から山道を歩き始めると大普賢岳の頂直下に大氷柱が見える。今日と明日  
はあの氷に対峙するかと思うとドキドキもするがワクワクする。ラッセルは足首～深いと  
ころでも膝下程度、2時間でシェークスピア氷瀑群へ着く。

M本は「ハムレット」30mを2ピンで駆け抜けてゆく。「リア王」の上のルンゼ（上部  
には双子の氷柱30mと最奥に「コーラル・ベール」40mがある）を横切り次のルンゼ  
（「マクベス」上のルンゼ）を詰めると、眼前に幅100m～高さ100mくらいあろうか  
というハング壁を伴った大岩壁が姿を現す。この岩壁の左寄りに2段の氷柱も伴った険悪  
な大氷瀑が見えた。近年は温暖化の影響がはっきりした氷柱が下まで届くことは無いそう  
だが（実際、先週はまだ到達していなかった）、今年は冷え込みが1月中旬から3週間近く  
続いたお陰で何とか到達している。こんなチャンスはめったに無いだろう！



「閻魔大王」の3ピッチ

11時に登攀開始、1ピッチ目、M上リードでスタート。難しくはないが、氷が脆いと  
ころも多く所々ベルグラ状になっているところもあるので、アックスの先を潰さない様、

丁寧に登る。降雪のためチリ雪崩も多く、南岸性の低気圧のためか気温はそんなに低くないのでメガネ持ちには目の前がくもって登りにくいことこの上ない。一本目の氷柱の下が良いビレイ点になりそうだったので、ここでピッチをきる。

2ピッチ目、今回の核心ピッチとなった。M本リードで、出だし10mは氷も硬く快適そうであったが、ハングに差し掛かる手前から悪そう・・・天然氷がツララとなってハングしている。しかもハング手前は氷が薄く、ハング部分は茸の傘の裏のような縦襞になっている。しかも上部はカリフラワー状の悪い氷だ。ハングの手前に3本のスクリュウを固め打ちし、鶏冠状の氷にスリングをタイオフしてM本が登り切った。上部氷柱の基部にてビレイ。



核心2ピッチ目で格闘するM本



鶏冠状氷と襞氷のハング

3ピッチ目もM本リード。下から見る感じではこちらのピッチの方が悪そうであったが、先ほどよりマシな感じ。こちらは2段の浅いハングを持った垂壁～うす被りになっていて、しかも下部は繋がったばかりなので、とてもデリケートな蹴り込みを要する。傾斜がやや緩くなった地点でピッチを切った。



### 3ピッチ目をリードするM本

塵雪崩がひどくなり、時間的にも厳しくなっているため今日は終了とし、明日のために目星を付けていたトラバース・ルートを偵察する。(3ピッチ目のM上がフォロー時に大チリ雪崩が発生し、5分くらい身動きが取れなかった。M本はビレイ点で50cmくらい引きずられたそうです。この大チリ雪崩の前にも、シェークスピア上部で「ゴゴッー」という爆音を伴った雪崩が発生していたので、南岸性低気圧の大雪時は注意が必要ですね)

雪崩にびびりながら、シェークスピア～山葵谷へ駆け降りる。



### トラバース・ルートを偵察するM本

2月10日(日)曇り時々晴れ

今日は長帳場になりそうなので、朝3時半起床、少し遅くなって5時に出発。当然ラッセルだが、昨日の大雪で思ったよりひどいラッセルで時間をとられる。それでも2時間半でシェークスピアには到着したが、そこから上部は泳ぐようなラッセルであった。



腰以上の泳ぐようなラッセルで取り付き右岸へ

ハムレット上部から昨日の終了点まで、猛ラッセルとミックス・クライミングの混ざった灌木や棘、草付きなどがある日本の奮闘的なトラバース・ルート(0ピッチ:M本リード。「イバラの道」と命名、ワンポイントM4~5くらいか?)を経て更に2時間以上かかって昨日の終了点に到着。

1ピッチ目、M本リード。やさしいナメ状の滝、表面はグサグサの氷であるが、深めにピックを刺すと問題なし、垂壁の基部でビレイ。2ピッチ目、M上リード。15mくらいの垂壁を登ると後は雪田、5mのナメ滝の手前でピッチを切る。



2ピッチ目をリードするM上(この辺りが山道から白く大きく見える氷瀑のあたり?)

3ピッチ目、M本リード。ナメ滝を登って、雪田を登り右側の氷柱の1段目でハンギング・ビレイ。



めずらしく？疲労困憊のM本（手前、右側の氷柱を登攀、奥にもう一本ある）

4ピッチ目、M上リード。垂壁の残り10mを越え、グサグサの滑状氷なのでスクリュウが決められず、20m以上ランナウトしてやっと出てきた段々状の垂壁の基部にてピッチを切る。5ピッチ目、M本リード。「ラインを選べば 級～ 級くらいですよ～」と言ったが、フォローしてみると、以外に氷も悪くベルグラやミックス状になっているところもあつたりで、やっぱり 級でしたね。ほぼロープを使い切って立ち木でビレイ。稜線まで抜きたいが、時間的にも厳しく疲労困憊であったので、ここで終了とする。



これで氷瀑は終わり、ほぼトップ・アウト！

後は安全に下るだけだ。全6ピッチの懸垂下降で「閻魔大王」基部に辿り着く。

（ここでも登攀中にアバラコフを作成してくれていたM本さんに感謝です）





大氷柱瀑の最奥部・右氷柱と左氷柱

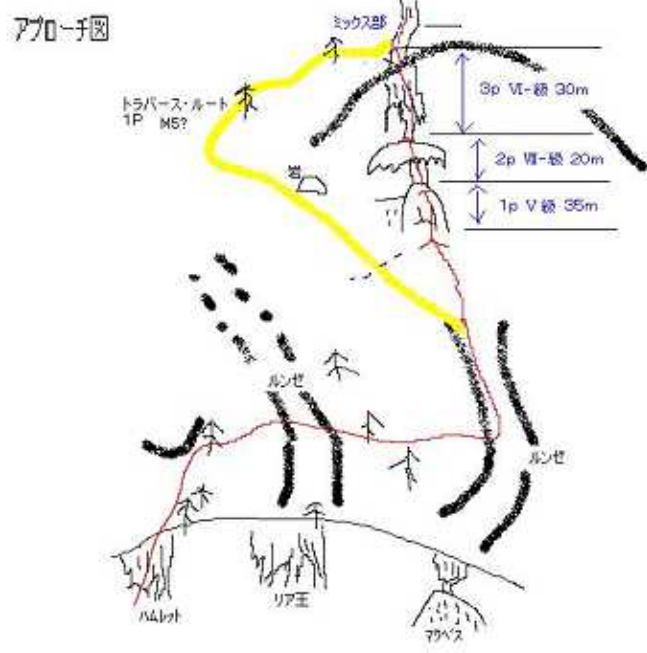
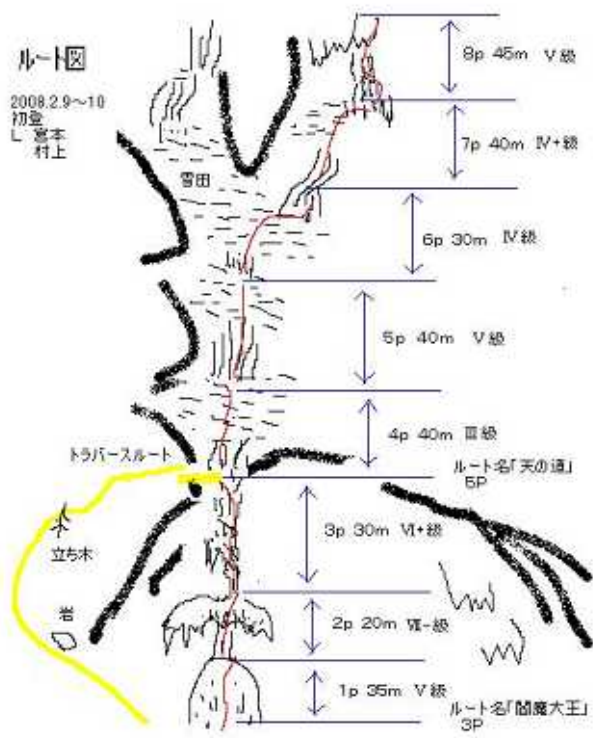


上部、雪田から見える山葵谷

M本さんには、核心ピッチを初め難しいパートは登ってもらい、また、登攀時のこまごましたところで、ご迷惑をお掛けしたこともあったと思いますが、示唆して頂き有難うございました。

(記：M上) 無断転写禁をお願いします

# 追記





2月3日の様子（「閻魔大王」部分）



2月24日の様子

